

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月17日

計画の名称	加西市における良好な水環境のまちづくり（4）													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	加西市													
計画の目標	処理施設の統合を行うことにより下水道事業の効率化を推進すると共に、安心安全な市民生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		733	A	733	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R4当初)	(R6末)	(R8末)
1	剣坂地区と福住地区の公共下水道への統合により、公共下水道の汚水処理人口普及率を61% (R4当初) から63% (R8) へ増加させる。 加西市の行政人口に対する公共下水道整備済み区域の人口の割合 公共下水道の整備済み区域の人口 (人) / 加西市の行政区域内の人口 × 100	61%	61%	63%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	加西市	直接	加西市	管渠（ 污水）	新設	加西市下水道処理施設統 合污水管渠	污水（φ75～250） L=2800m 23.2ha	加西市	■	■	■	■	■	438		－	
	A07-002	下水道	一般	加西市	直接	加西市	管渠（ 污水）	新設	管渠（污水管）整備事業	污水管（φ75～150） L=150 0m	加西市	■	■	■			295		－	
												小計						733		
												合計							733	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	74	85			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	74	85			
前年度からの繰越額 (d)	0	47			
支払済額 (e)	27	74			
翌年度繰越額 (f)	47	58			
うち未契約繰越額 (g)	3	11			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	4.05	8.33			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 加西市における良好な水環境のまちづくり (4)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画・生活排水処理計画・都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性等 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(図面) 水の安全・安心基盤整備

